

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 2 月 6 日(2024.2.6)

【公開番号】特開 2023-157395(P2023-157395A)  
【公開日】令和 5 年 10 月 26 日(2023.10.26)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-202  
【出願番号】特願 2022-67285(P2022-67285)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 1 月 29 日(2024.1.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を発射可能な発射手段と、

遊技球が流下可能な遊技領域に設けられる始動入球領域と、

前記始動入球領域に遊技球が入球することに基づいて所定の判定を実行する判定手段と

、  
前記始動入球領域に遊技球が入球した場合に、所定の図柄を変動表示する表示手段と、

前記遊技領域に設けられ、前記判定手段によって特定判定結果となった場合に、遊技球が入球困難または不能な第 2 状態と、遊技球が前記第 2 状態より入球可能な第 1 状態との間で状態が切り替わり得る可変入球手段と、

30

前記変動表示における予め定められた更新条件の成立に基づいて特定情報を更新する更新手段と、を備えた遊技機であって、

本遊技機は、

前記更新手段によって前記特定情報を更新し得る特定の遊技状態において、前記特定情報が所定の更新状態となった場合に特定表示を行い、

前記特定表示の後に利益状態発生条件が成立した場合に、所定の利益状態を発生させるよう構成され、

報知態様として、第 1 報知態様表示、又は、該第 1 報知態様表示とは異なる第 2 報知態様表示で、所定の報知情報表示を実行する報知制御手段、を備え、

40

本遊技機は、

前記発射手段によって発射された遊技球が、前記第 1 状態の前記可変入球手段に入球して、所定の遊技条件が成立することに基づいて特定利益を発生させるよう構成され、

所定の遊技状態において、前記判定手段によって前記特定判定結果となった場合に、その後第 1 の所定遊技操作を実行する方が、第 2 の所定遊技操作を実行するよりも遊技者にとって不利になり得るよう構成されており、

前記報知制御手段は、

前記判定手段によって前記特定判定結果となった場合に、前記特定情報が前記所定の更新状態となるよりも所定期間前の所定タイミングでは前記第 1 報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行し、前記所定タイミングよりも後の特定タイミングにおいて前記第 2 報

50

知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行するように前記報知態様表示を切り替える報知切替を実行可能に構成され、

本遊技機は、

前記報知切替を実行した場合に、前記特定判定結果に対して前記第 2 報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行し、遊技者に対して前記第 2 の所定遊技操作の実行を促すよう構成され、

前記特定情報が初期状態から前記特定タイミングに到達するまでの期間は、前記特定タイミングから前記所定の更新状態に到達するまでの期間よりも長くなるよう構成されたことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球を発射可能な発射手段と、遊技球が流下可能な遊技領域に設けられる始動入球領域と、前記始動入球領域に遊技球が入球することに基づいて所定の判定を実行する判定手段と、前記始動入球領域に遊技球が入球した場合に、所定の図柄を変動表示する表示手段と、前記遊技領域に設けられ、前記判定手段によって特定判定結果となった場合に、遊技球が入球困難または不能な第 2 状態と、遊技球が前記第 2 状態より入球可能な第 1 状態との間で状態が切り替わり得る可変入球手段と、前記変動表示における予め定められた更新条件の成立に基づいて特定情報を更新する更新手段と、を備えた遊技機であって、本遊技機は、前記更新手段によって前記特定情報を更新し得る特定の遊技状態において、前記特定情報が所定の更新状態となった場合に特定表示を行い、前記特定表示の後に利益状態発生条件が成立した場合に、所定の利益状態を発生させるよう構成され、報知態様として、第 1 報知態様表示、又は、該第 1 報知態様表示とは異なる第 2 報知態様表示で、所定の報知情報表示を実行する報知制御手段、を備え、本遊技機は、前記発射手段によって発射された遊技球が、前記第 1 状態の前記可変入球手段に入球して、所定の遊技条件が成立することに基づいて特定利益を発生させるよう構成され、所定の遊技状態において、前記判定手段によって前記特定判定結果となった場合に、その後に第 1 の所定遊技操作を実行する方が、第 2 の所定遊技操作を実行するよりも遊技者にとって不利になり得るよう構成されており、前記報知制御手段は、前記判定手段によって前記特定判定結果となった場合に、前記特定情報が前記所定の更新状態となるよりも所定期間前の所定タイミングでは前記第 1 報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行し、前記所定タイミングよりも後の特定タイミングにおいて前記第 2 報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行するように前記報知態様表示を切り替える報知切替を実行可能に構成され、本遊技機は、前記報知切替を実行した場合に、前記特定判定結果に対して前記第 2 報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行し、遊技者に対して前記第 2 の所定遊技操作の実行を促すよう構成され、前記特定情報が初期状態から前記特定タイミングに到達するまでの期間は、前記特定タイミングから前記所定の更新状態に到達するまでの期間よりも長くなるよう構成されている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

請求項 1 記載の遊技機によれば、遊技球を発射可能な発射手段と、遊技球が流下可能な遊技領域に設けられる始動入球領域と、前記始動入球領域に遊技球が入球することに基づいて所定の判定を実行する判定手段と、前記始動入球領域に遊技球が入球した場合に、所

10

20

30

40

50

定の図柄を変動表示する表示手段と、前記遊技領域に設けられ、前記判定手段によって特定判定結果となった場合に、遊技球が入球困難または不能な第２状態と、遊技球が前記第２状態より入球可能な第１状態との間で状態が切り替わり得る可変入球手段と、前記変動表示における予め定められた更新条件の成立に基づいて特定情報を更新する更新手段と、を備えた遊技機であって、本遊技機は、前記更新手段によって前記特定情報を更新し得る特定の遊技状態において、前記特定情報が所定の更新状態となった場合に特定表示を行い、前記特定表示の後に利益状態発生条件が成立した場合に、所定の利益状態を発生させるよう構成され、報知態様として、第１報知態様表示、又は、該第１報知態様表示とは異なる第２報知態様表示で、所定の報知情報表示を実行する報知制御手段、を備え、本遊技機は、前記発射手段によって発射された遊技球が、前記第１状態の前記可変入球手段に入球して、所定の遊技条件が成立することに基づいて特定利益を発生させるよう構成され、所定の遊技状態において、前記判定手段によって前記特定判定結果となった場合に、その後第１の所定遊技操作を実行する方が、第２の所定遊技操作を実行するよりも遊技者にとって不利になり得るよう構成されており、前記報知制御手段は、前記判定手段によって前記特定判定結果となった場合に、前記特定情報が前記所定の更新状態となるよりも所定期間前の所定タイミングでは前記第１報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行し、前記所定タイミングよりも後の特定タイミングにおいて前記第２報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行するように前記報知態様表示を切り替える報知切替を実行可能に構成され、本遊技機は、前記報知切替を実行した場合に、前記特定判定結果に対して前記第２報知態様表示で前記所定の報知情報表示を実行し、遊技者に対して前記第２の所定遊技操作の実行を促すよう構成され、前記特定情報が初期状態から前記特定タイミングに到達するまでの期間は、前記特定タイミングから前記所定の更新状態に到達するまでの期間よりも長くなるよう構成されている。これにより、遊技への注目度を好適に高めることができる、という効果がある。

10

20

30

40

50